

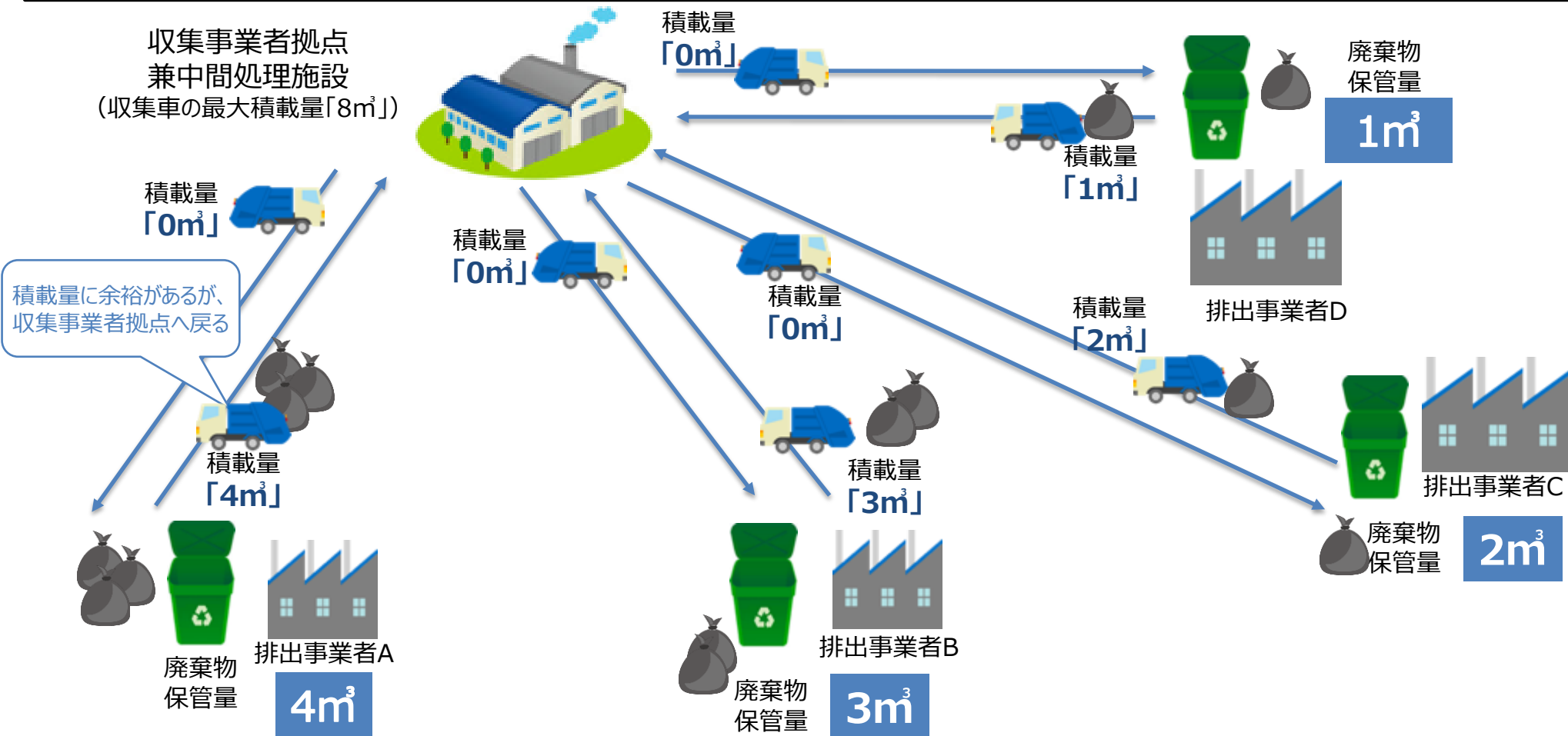
【別紙 1 - 1】産業廃棄物の収集運搬に関する現状の課題

＜現状＞ 個社ごとの非効率な「ピストン回収」

収集事業者は、

以下課題により積載量に余裕があっても、収集拠点に毎回戻ることが必要のため、その結果総走行距離が高止まりし、非効率

- ・各排出事業者の廃棄物量を事前に把握することが不可能である
- ・複数排出事業者の廃棄物をまとめて回収できない（廃棄物が混在し料金分担等が不明確となるため）



【別紙 1 - 2】産業廃棄物の収集運搬に関する解決策

<解決策> 実需連動型「一括回収」で最適化

収集事業者は、

- ・各排出事業者の廃棄物量を事前に把握することが可能
 - ・新たな運用ルールを導入する事で複数排出事業者一括での回収が可能
- その結果、効率的な収集運搬を実現することにより産業廃棄物処理コストの削減をめざす。

